

**宝達志水町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議  
における意見対応**

## ① 人口ビジョン

番号	ご意見	担当課	対応
1	・将来シミュレーションの設定として、合計特殊出生率を低く設定するなど、最悪のパターンも検討すべき。	企画情報課	令和2年からの第2期人口ビジョンの推移と実際の町人口には、大きな差はみられませんでしたでしたが、合計特殊出生率が2040年以降2.07と設定されていることが非現実的と考え、改訂を行うこととしました。前回提案した複数のパターンにおいて設定した、合計特殊出生率1.35および1.80についても非現実的であり、最悪のシナリオを考慮すべきとの意見を受け、合計特殊出生率を1.0とした場合の人口減少の推移パターンを作成しました。しかし、人口推移が前回提示した合計特殊出生率1.35と比較しても大きな差は見られませんでした。これを踏まえ、前回提案した推移パターンを第3期人口ビジョンとさせていただき、今後施策を推進し、人口減少の流れを緩やかにすることを目指していきたいと考えております。
2	・目標は高く掲げ、その達成に向けて真剣に取り組むことが大切。	企画情報課	
3	・今後の人口推移はR5社人研推計に近く、能登半島地震を踏まえながらさらに減少が加速すると思われる。	企画情報課	
4	・2000年以降に25～29歳の女性が減少しているが要因はあるのか。また理由が分かれば対策ができるだろう。	企画情報課	就職や結婚などにより転出したと想定されます。若者の移住定住促進策を進めることで、転出減少に努めていきます。
5	・人口が継続的に減少見込みであり、思い切ったアクションが必要。	企画情報課	総合戦略の推進により、本町の地方創生に努めていきます。
6	・かほく市への転出が多いため、原因を検証し、対策が必要である。	企画情報課	かほく市へは住環境や通勤環境等に魅力を感じている層が多いと想定されます。また、以前は町内において賃貸物件が不足していたことも要因と考えられます。今後は、移住定住策を推進し、町外への流出を抑制していきます。

② 基本目標1：「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

番号	ご意見	担当課	対応
1	・各検定について小学生が団体受検をできる機会を設けてほしい。	学校教育課	小学生の団体受検実施に向け、学校と調整を行います。
2	・検定事業のチラシの内容を工夫（合格者や利用者の声の掲載など）してほしい。	学校教育課	周知用チラシの内容を見直し、児童生徒のチャレンジ意欲を促進していきます。
3	・子育てに男性（夫）がより参加するノウハウを学ぶプログラムがあるとよい。	子育て応援室	現在、プレパパママ会を開催しており、参加者の増加を目指して今後も推進していきます。
4	・小中学校給食費無償化について、町ではR6.10月から既に無償化しているのに次期戦略に盛り込む必要があるか。盛り込むなら「無償化の継続」とすればよい。保育料、保育所副食費の無償化も同様。	企画情報課	現在実施している取組の中で、第2期に設定されていないものについては、第3期では施策の拡充として記載する方針で進めております。また、表記については、より分かりやすい形に修正を行います。
5	・小中学校給食費無償化の件について、同じ住民でありながら町内外に通う児童生徒間に、無償化・一定の助成といった格差が生じる点について。国政では、国会で給食費無償化に向けた法案提出の動きもあり、今後の状況を注視していく必要がある。	学校教育課	町外へ通学する児童生徒に対する補助額の格差については、国の動向を注視しつつ、今後検討していきます。
6	・室内公園が必要だが、周辺市町と同様な内容ではなく、年代別に遊べたり、保護者が遠方のカフェで子供も見守れたりするなどになればよい。	子育て応援室	町では令和7年度に『町こども計画』の策定を予定しており、これに合わせて子どもや、子育て世代の意見をもとに、施設の内容や整備計画について検討していきたいと思っております。

③ 基本目標2：「稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする」

番号	ご意見	担当課	対応
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誘致できなければ用地整備が無駄遣いとなるため、他市町より優位性を示す必要がある。</li> <li>・企業誘致に向け、整地や補助金などを検討する必要がある。</li> </ul>	商工観光課	東部用地については、将来的に企業誘致につながるよう、十分な検討を行い、整備を推進します。また、様々なパッケージを活用したアプローチを検討し、企業誘致に向けた取り組みを強化していきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒蜜姫をふるさと納税返礼品にする場合のパッケージ作成について、補助を検討してほしい。</li> <li>・黒蜜姫の名前を出しながら積極的にPRを気軽にできるようにしてほしい。</li> <li>・上記の取組等による、就農者の支援策が必要。</li> <li>・農業振興について、既存の農業支援についても対策してほしい。</li> </ul>	農林水産課	パッケージ作成の補助として宝達志水町農産物ブランド化推進事業補助金が該当します。令和5年度にはシャインマスカット事業に対して補助金を交付しています。今後も関係機関と連携し、就農者への支援を継続します。
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジショップやスマート農業の事例があればよかった。</li> </ul>	商工観光課 農林水産課	スマート農業については宝達志水町産地づくり事業で補助金を交付しています。令和5年度は2件で環境モニタリングシステム及びスマート農業灌水装置、令和6年度は2月末現在で1件で気象センサーに対して、交付しています。チャレンジショップについては、今後、取組を推進し、毎年のフォローアップ時に進捗状況等について報告させていただきます。
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税の目標額の設定について、インフレ率を加味するべきで、金額ではなく税率比や予算収入の〇%といった示し方もあるだろう。</li> </ul>	商工観光課	ふるさと納税の目標値の設定においては、インフレ率を考慮することは重要な視点ではありますが、成果が分かりやすい金額で設定させていただきたいと思います。

④ 基本目標3：「本町とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」

番号	ご意見	担当課	対応
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代の移住定住を増やすには、周辺の利便性を考えながら、宅地造成が必要である。</li> <li>・周辺整備も併用して行い、「住むなら宝達志水町」と言われるようなまちづくりが望まれる。</li> <li>・宅地造成をPRできる周辺環境として、羽咋市では海、のと里山海道、公園、道の駅等が評価されているだろう。通勤しやすく、子育てしやすい環境が必要。</li> </ul>	企画情報課 財政課 地域整備課	宅地造成候補地の選定については、周辺環境を十分に考慮し、推進していきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宝達山の活用方法を議論する場を設置するのもよいのではないか。</li> </ul>	商工観光課	今後の取組の参考とさせていただきます。
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間賃貸建設補助について、これまでの会議でも見直しの必要性を議論したが、内容が変わっていない。</li> </ul>	地域整備課	移住定住の促進に向け、賃貸住宅不足の解消に継続的に取り組む必要があり、制度の周知も行いながら推進します。
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンクの登録者は売却や賃貸が受け入れられる方に限られ、愛着がある家は登録されず空き家になる場合が多いだろう。転出した方がUターンしやすいよう、改修補助を拡充してほしい。</li> </ul>	企画情報課	愛着のある家が空き家バンクに登録されずに空き家のままとなっている現状については、認識しております。しかし、Uターンを促進するための個人所有の建物改修補助の整備については、課題もあると考えております。
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民共創まちづくり戦略の推進について、取組にどの程度の権限と責任があるのか気になる。関係者や住民を納得させるには、中心となる人材や組織が必要で、力量が試される。</li> </ul>	商工観光課	事業を進めるにあたっては、事務局機能を持った専門部署の設立が必要と考えます。現在は地震からの復旧が最優先ではありますが、その先の地域経済の復興も重要であることから、そのための施策を多方面に検討していきたい。

⑤ 基本目標4：「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」

番号	ご意見	担当課	対応
1	・女性防災士を増やす取り組みが必要。	環境安全課	宝達志水町国土強靱化地域計画においては、女性防災士の増加を目標として設定しており、今後も女性防災士の育成に向けた取組を推進していきます。
2	・地域コミュニティの充実を図り、孤立させない取組が必要。	企画情報課 健康福祉課	さまざまな取組を通じ、地域と行政が協働し、地域コミュニティの強化に努めます。
3	・町内で実施しているがん検診は簡易的なものなので、個別に人間ドックに行く方の支援があればよい。	健康づくり推進室	現状は、国民健康保険に加入されている方に対し、人間ドックおよび脳ドックにかかる検査費用の一部を助成しております。他の支援についても、今後の取組への参考にさせていただきます。
4	・電子回覧板は便利そうであるが、単身の高齢者には不要かもしれず、安否確認がてらの回覧板がある方がよい。	総務課 健康福祉課	電子回覧板については、区内の実情に応じた運用を行っていきます。 また、単身高齢者に対しては、地域での見守り体制の充実を今後も推進していきます。
5	・若い世代の移住定住だけでなく、中高齢世代のUIターンにも支援すればよい。様々なノウハウがある方が増えることで、関係人口・交流人口の増加や魅力あるまちづくりを進めるきっかけとなるだろう。	企画情報課	マイホーム取得奨励金は年齢制限がなく、制度を利用することができます。また、町定住促進協議会では移住者交流会なども開催しており、今後も移住者支援の充実を推進していきます。さらに、関係人口・交流人口増加を目指し、学生の滞在型まちづくり活動の推進にも取り組みます。
6	・地域住民が比較的集まりやすい地域の避難所を設けてほしい。	環境安全課	今後、指定避難所の増設や会館等の自主避難所の整備に関する制度の整備を推進していきます。

番号	ご意見	担当課	対応
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区のDX運用について町と区との連携をうまくできるようにしてほしい。</li> <li>・電子回覧板について、導入は必要であろうが紙とシステムが二重になり、効率化が図りづらいだろう。しかし、導入・活用は必須のため、ツールを活用することのメリット、デメリットを見極め、よりよい活用像を目指すべき。またシステム運用者への教育の充実も必要。</li> </ul>	総務課	<p>町の公式LINEを活用した情報ツールである電子回覧板については、区長会で、令和6年10月に先進地視察を行い、本年10月の導入に向けて準備を進めております。</p> <p>メリットとして、区長等が管理者となり、回覧板やごみ当番の日程、訃報など区独自の発信ができるほか、町と区長間でのデータやり取りが可能となるものです。</p>

⑥ 基本目標5：「デジタルの力で誰もが便利で快適に暮らせるまちをつくる」

番号	ご意見	担当課	対応
1	<p>・町のLINE等の登録者数増加に向け、町の情報だけでなく、商工農業等の町で行われているイベントについても広く発信すればよい。</p> <p>例)</p> <p>10月 YOSAKOI ソーラン日本海本祭・宝達志水大花火大会・宝志農業振興協議会青空市</p> <p>11月 ティラノサウルスレース</p> <p>12月 HABの『ふむふむ』内での、ふるさとCM放映</p>	企画情報課	現在、環境安全課と連携し、情報発信を推進していますが、今後は担当課でもイベント等の情報を発信できるように努めていきます。
2	<p>・SNSを活用した情報発信を重要で魅力があれば、他県からのアクセス数も増えていくだろう。</p>	企画情報課	今後も、SNSを活用した情報発信について、様々なツールを活用し、時代の変化に応じた情報提供を推進します。
3	<p>・マイナンバーカードの普及率の高さを活かしたイベントを企画してはどうか。</p>	企画情報課	デジタルデバイドの解消に向けた取組と合わせて、今後の参考とさせていただきます。
4	<p>・町施策のデジタル化で利便性が向上するが、地場産業に与える付加価値、人にしか出来ない分野の質的向上がどのように進むか、確認する必要がある。</p>	企画情報課	今後、DX施策を推進するにあたり、町内の変化をモニタリングする視点として、参考にさせていただきます。

⑦ その他

番号	ご意見	担当課	対応
1	・母子が住みやすい環境構築が重要である。	子育て応援室	今後も、保護者ニーズに応じて子育て環境の充実を推進していきます。
2	・Uターンが期待できるよう、子ども達の郷土愛を育む教育が重要。	学校教育課 生涯学習課	地域との繋がりを強化し、郷土愛を育むために、ふるさと教育をはじめ、体験型授業、職業体験学習を推進します。
3	・総合戦略の位置付けを概念図等で示してほしい。	企画情報課	計画書に総合計画と総合戦略の関係性を示すイメージ図を追加しました。
4	・ターゲットとなる年齢層と取組の関係性が分かればよい。	企画情報課	幅広い町民に向けた取組が多数あり、総合戦略での記載は難しい状況です。今後は、各年齢層に応じた適切な情報を周知し、より効果的な施策を展開していきます。
5	・本町に必要な事業について、優先順位を設定し、スピード感を持って進めることが大切。	総務課 企画情報課 財政課	町全体で優先順位を共有しながら、事業を推進していきます。
6	・DXの注釈がある取組があるが、DXに関する位置付け等が分かりにくい。	企画情報課	第3期総合戦略では、デジタル技術を活用し、便利で快適な生活環境の整備、業務の効率化を目指しています。そのため、DXを活用可能な施策には注釈を付けています。
7	・各分野の重要な施策を主要施策として設定してはどうか。	企画情報課	主要施策として設定することは行わない方針です。第3期で設定した施策は、どれも重要な施策であると認識しており、関係課が連携して推進する必要があると考えております。
8	・KPIには現れない、達成感、満足感が示されれば各部署のやりがいに繋がる。	企画情報課	毎年のフォローアップ時に進捗状況を各課で共有し、意見交換を行い、KPIに現れない進捗状況も確認していきます。
9	・能登半島地震が総合戦略に及ぼす影響を整理、検証してほしい。	企画情報課	第2期総合戦略では、能登半島地震の影響を受け中断した施策がありましたが、第3期ではその教訓を生かし、安心安全なまちづくりを目指して、防災項目や地域コミュニティの強化を追加しました。また、人口の社会増

番号	ご意見	担当課	対応
			減に関しては、今後も地震の影響が続くと考え、移住定住支援を充実させ、町内外の被災者が生活再建できる場所として選んでもらえるよう取組を推進していきます。
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少に伴う財政難が危惧されるなか、近隣市町と相互に補完するような連携を検討してはどうか。</li> </ul>	総務課 企画情報課	近隣市町との連携については、羽咋郡市広域兼事務組合と協働し事業を推進するほか、公共交通デマンドなど、住民サービスの向上に向けた取組について積極的に推進していきます。
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の参加者について、各分野からの参加枠を設け、まちづくりの基礎データとしてほしい。</li> <li>・会議時間が限られるため、分科会等を設置してはどうか。</li> </ul>	企画情報課	次回策定時の会議運営の参考とさせていただきます。